

～ 実穀小跡地利用だより ～

本町では、平成27年3月に策定された「阿見町立学校再編計画」に基づき、平成30年3月に実穀小学校・吉原小学校の2つの小学校が閉校となりました。

実穀小学校・吉原小学校跡地の利活用について、地域の代表からなる「跡地利活用検討委員会」を組織し、地域の皆さまからの意見や要望等を募り、検討した結果、多世代が交流できる地域交流拠点施設を要望する声を多数頂きました。

要望の1つである「地域交流拠点施設」について協議するため、平成31年4月生涯学習課に地区公民館整備係を新設し、地域の代表からなる「地区公民館整備検討委員会」を組織しました。

検討委員会では、施設計画や運営体制、効果的な運営に係る協議及び検討を行ってまいります。

今後、検討委員会で協議された内容は、町HP上で公開するとともに、地域の皆さまに回覧でお知らせ致します。

第1回検討委員会委員

令和2年1月23日（木）中央公民館多目的室において開催しました。

委員長に、実穀地区の栗田 敏昌さん、副委員長に、上長地区の角 慶一郎さんが選出されました。

検討委員の構成は、次のとおりです。

※敬称略

選出区分	氏名	氏名
実穀の行政区を代表する者	野口 力	栗田 敏昌
寺子の行政区を代表する者	金子 恵以子	加藤 誠
上小池の行政区を代表する者	大澤 清	吉田 康広
下小池の行政区を代表する者	櫻井 寛子	横田 健一
上長の行政区を代表する者	角 慶一郎	大久保 章子
筑見の行政区を代表する者	広田 佳正	田口 敏見

実穀小学校校舎（建物）の概要

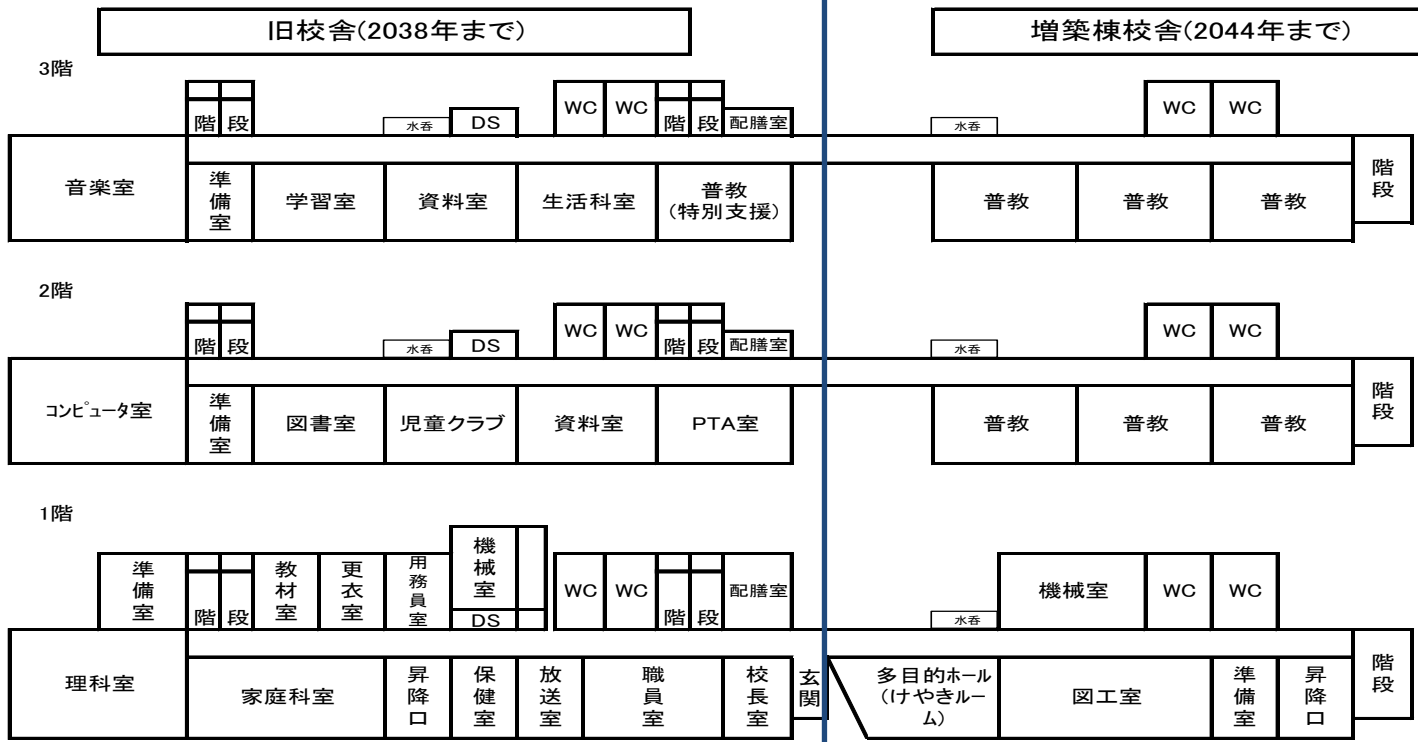
棟名	旧校舎	増築棟校舎
建築年月	S53年3月	S59年3月
建築経過年数(基準日 R02.4)	42年	36年
耐用年数を60年とした場合の 残り年数(基準日 R02.4)	18年 (2038年まで)	24年 (2044年まで)
集会施設としての構造計算結果	使用不可	使用可

※構造計算は、集会施設と学校では基準が異なるため、学校として構造上の問題があったわけではありません。

【構造計算】構造計算とは、建物の安全性を確認するためのものです。

実穀小学校施設平面図

縮尺 Free



協議・検討内容

◎実穀小学校校舎の構造再計算

建築基準法で積載荷重基準が学校教育施設（校舎）と集会施設では異なります。そのため、用途変更をする際に、集会施設として使用できるのかを再計算した結果となります。

集会施設に用途変更した場合、増築棟校舎については排煙窓設置等の法的義務を除き、現状のまま使用できます。旧校舎は、建物重量の軽量化を図る屋上の工事が必要となるため、現状では使用不可となります。

◎増築棟校舎の利用規模

構造再計算の結果を受け、校舎の耐用年数等を考慮し、増築棟校舎に地域交流拠点施設を整備するという考えを進めていくこととなりました。増築棟校舎の利用したい範囲と利用室名、運営方法を記入するアンケート用紙を各委員に配付し、第2回の会議までに集約し協議・検討します。

◎主要な改修（予定）工事

屋上防水、内装、窓、トイレ、エアコン、給湯室、ガス、電話設備、キュービクル、消防設備
給排水設備、照明

◎供用開始（予定）

令和4年4月

第1回検討委員会の議事録、次回の第2回検討委員会の開催日は、町HPをご覧ください。

【問い合わせ先】

阿見町教育委員会生涯学習課 地区公民館整備係 TEL:029-888-2526（阿見町中央公民館内）

※月曜日、祝日は休館日になります